

日本科学技術情報センターについて

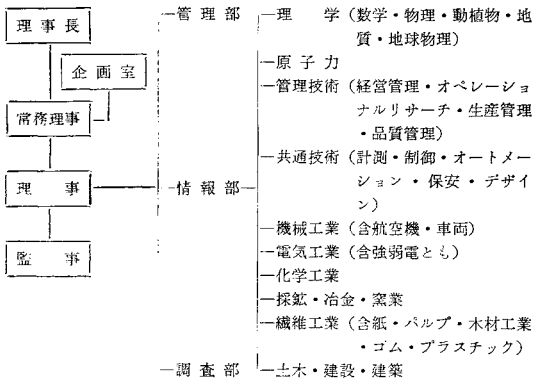
科学技術に関する情報を迅速かつ適確に収集し提供するために、特殊法人日本科学技術情報センターが設立されることになり、その業務を円滑に遂行するために、広く全国の科学技術者の理解と援助を要請しているの、ここにその目的と機能を摘録する。 【編集部】

日本科学技術情報センターは わが国の科学技術振興方策の一つとして科学技術庁において企画されましたが、幸いにして広く産業界、学界、官界等の理解と協力とにより、7月初旬発足することになりました。この情報センターは、日本科学技術情報センター法（昭和32年4月、法84号）にもとづく特殊法人の性格をもって設立されます。

このセンターの使命は わが国における科学技術情報活動の中核的機関として、企業体、研究機関、研究者および技術者等が必要とする内外の文献、資料その他の情報を、組織的に収集蓄積し、かつ迅速適確に提供することによって、わが国の科学技術の振興に寄与することにあります。

このセンターの機能は 1. 科学技術情報の収集、分析、分類、整理および保管。 2. 国外、国内の情報機関、研究機関、企業体との連絡および協力。 3. 刊行物による最新情報の紹介。 4. 特定主題に関する情報の系統的調査および提供。 5. 資料の複写、翻訳。

組織図



規模

1. 予算 昭和32年度は、政府出資4000万円および同補助3000万円が決定していますが、広く民間から同額の出資および寄付をいただき、さらに事業収入約1000万円を予定し、計約15000万円の規模であり、昭和33年度以降逐年この規模を強化拡大したいと思っています。

2. 人員 昭和32年度は約60名で発足し、第一次計画完成年度には150~160名程度に強化する予定です。なお、部外に相当多数の協力者をお願いしたいと思っています。

3. 建物 都内千代田区一番町15番地5の旧日本化薬ビル(約500坪)を使用することとし、目下改装中です。

なお同センターでは科学技術情報の利用状況と需要を調査するために、次のようなアンケートを求めている。

1. あなたの機関で利用されている科学技術の利用頻度、その価値などについて次の表(省略)に記入して下さい。

2. 科学技術情報センターでは、文献目録、インデックス誌、抄録誌などを刊行する予定ですが、これに関して次の文(省略)に○または×をつけて下さい。

3. 科学技術情報センターでは、入手した資料の複写サービスを行う予定です。文献の複写について伺いたいので、次の項目(省略)に○×をつけアンダーラインの所に適当な記入をして下さい。

4. 特許係争に際して資料到着証明を必要とする場合

5. 科学技術情報センターでは上にあげた仕事の他に次のように、御依頼に対する調査サービスを行う予定です。これらのうちいままでに経験のあつたものに△印、要望するものに○印をつけて下さい(項目省略)。

6. 以上科学技術情報センターでは各種の業務を行うはずですが、どれを重視するか1, 2, 3……の数字で順位をつけて下さい(項目省略)。

註：詳細は東京都千代田区霞ヶ関3ノ3鋼鉄ビル4階日本科学技術情報センター設立委員会事務局 電(59)6886にお問合せ下さい。

学会備付年報、要覧等(国内)一覽(10)

昭.32.1.~6.間に寄贈または交換により受領の分

1. 官公庁関係

○北海道の開発 北海道開発局事業案内書 1957

2. 学校関係

○東大生研案内 1957年版 ○名工大研究者一覽(昭21年変) ○京大工学研究 20輯 ○東京都大工学部研究

一覽 昭.31.1.~12.

3. 官公庁、学校関係以外

○水道機工KK総合カタログ No.5502

付記 学会備付年報、要覧等(国内)一覽(9)は 42-2・p.32 に掲載